

2021(令和3)年度 第4回コンクリート常任委員会  
議事録

日時：2021年11月24日(水)14時00分～15時00分

場所：WEB会議

出席者：下村委員長，山本幹事長

綾野，石田，岩城，岩波，上田，氏家，内田，岸，河野，小林，坂井，菅俣，杉山，玉井，中村，永元，二羽，平田，本間，松村，丸屋，宮里，山口，山路の各常任委員  
加藤，田所，細田，前田，牧の各常任委員兼幹事  
小川(事務局)

配布資料：

- 4-0 令和3年度 第4回コンクリート常任委員会 議事次第
- 4-1 2021(令和3)年度 第1回コンクリート委員会・第3回 コンクリート常任委員会合同委員会議事録(案)
- 4-2 カーボンニュートラルに向けたコンクリート分野の新技术活用に関する研究小委員会設立趣意書(案)
- 4-3 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会
- 4-4 令和4年度全国大会共通セッション・特別セッションテーマの募集
- 4-5 2021年度コンクリート委員会 一般会計 予算執行状況
- 4-6 コンクリート委員会/部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会(357委員会)
- 4-7 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会(364委員会)
- 4-8 土木学会コンクリート委員会 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する調査研究委員会(365委員会)
- 4-9 本部主催行事開催報告

議事：

1. 委員長挨拶(下村)

下村委員長より，まずは，阪田先生が先日逝去されたことに関して，阪田先生の学協会やコンクリート委員会における貢献，お人柄についての紹介があり，哀悼の意がささげられた。また，コンクリート常任委員の井上先生が，11月から大阪工業大学の学長に就任されたことが報告された。あわせて，井上先生の学協会やコンクリート標準示方書における貢献や教育現場における活躍についての紹介があった。

コロナ禍においてコンクリート委員会では，各種活動が活発になされていることへの感謝と各種委員会の開催や成果公表の形態について，今後の状況を踏まえ，考えていきたいとの挨拶があった。

2. 2021(令和3)年度 第1回コンクリート委員会・第3回 コンクリート常任委員会合同委員会議事録の承認【資料4-1】

牧幹事より，前回コンクリート委員会，常任委員会の議事録(案)の確認があり，異議なく承認された。

## 審議事項：

### 1. 第2種委員会の設置の提案および委員構成

(1) カーボンニュートラルに向けたコンクリート分野の新技术活用に関する研究小委員会【資料 4-2】  
加藤幹事より、研究小委員会の設立について説明があり、異議なく承認された。以下に意見を示す。

(玉井) 要望になるが、材料的な視点を中心に検討を行うようであるが、発注者の立場としては、  
構造的な視点も含め、将来のカーボンニュートラルの社会のために必要なインフラはどの  
ようなものかという観点で議論していただけるとよい。

(二羽) 2種委員会として、本格的に取り組むことがわかったので、よろしく願いたい。

### 2. 第2種委員会の委員構成

(1) 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会【資料 4-3】

下村委員長より、第2種委員会の委員構成の変更について説明があり、異議なく承認された。

### 3. その他

(1) 令和4年度全国大会共通セッション・特別セッションテーマの募集【資料 4-4】

山本幹事長より、令和4年度全国大会共通セッション・特別セッションテーマの募集について説明が  
あった。委員からの提案はなかったため、コンクリート常任委員会からの提案はなしとなった。

## 報告事項：

### 1. 2021年度コンクリート委員会予算執行状況【資料4-5】

山本幹事長より、2021年度の予算執行状況について説明があった。また、下村委員長より、コロナの  
影響で未使用の予算については、示方書英訳に使用していると補足があった。

### 2. 第3種委員会の委員構成

(1) 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会（357委員会）【資料4-6】

牧幹事から、委員構成の変更について、説明があった。

(2) 3Dプリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会(364)【資料4-7】

牧幹事から、委員構成の追加について、説明があった。また、田中委員の所属の誤記の指摘があった。

(3) 土木学会コンクリート委員会 火害を受けた鉄筋コンクリート構造物の損傷と性能の評価に関する  
調査研究委員会（365委員会）【資料 4-8】

牧幹事から、委員構成の説明があった。

### 3. 講習会、成果報告会の開催報告【資料4-9】

牧幹事より、以下の講習会、成果報告会の開催報告があった。

(1) JSCE- Faculty of Engineering, Kasetsart University Joint Seminar (Online)

Current situations and maintenance technologies for concrete structures subjected to chloride attack in  
Thailand and Japan

(2) コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会 成果報告会およびシンポジウム

(3) 既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会 成果報告会（355委員会）（第2期）

### 4. 講習会、成果報告会の開催案内【資料4-9】

牧幹事より、以下の講習会、成果報告会の開催案内があった。

(1) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会 成果報告会

### 5. その他【資料なし】

牧幹事より、以下の研究小委員会の延長の報告があった。

- (1) 石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会（255委員会）の延長（岩城）コロナ禍の影響もあるが、石炭ガス化スラグ細骨材特有の特性もあり、それを解明することも含めて、延長を依頼した。
- (2) 締固めを必要とする高流動コンクリートの施工に関する研究小委員会（256委員会）の延長（加藤）コロナ禍の影響により、当初予定していた共通試験が実施できないため、延長を依頼した。
- (3) 示方書の電子化について

下村委員長より、コンクリート標準示方書の電子化について、状況の説明があった。

先日、土木学会事務局と打合せを行った。現行のコンクリート標準示方書の設計編、施工編の電子化は、当初より若干遅れる予定があるが、1/17に一般販売の予定である。次期のコンクリート標準示方書を紙媒体と電子媒体とを同時に販売するかについては、学会事務局で検討中であり、未定である。コンクリート委員会に対して意見取することもある。土木学会としては、コンクリート標準示方書の電子化が問題なく進めば、ほかの指針類も電子化される予定である。また、国交省の電子化推進の関係で、道路協会も道路橋示方書の電子化を検討しており、土木学会の電子化の動向をみているようである。

#### 次回開催：

日時：1月31日（月）14：00～17：00 Web会議＋学会会議室のハイブリッド会議  
（議題は、幹事宛1月12日（水）までに連絡）

以上

【記録：田所】